

別表 1

対象事業

事業名	内 容	具体例
基本的運営 ・連絡調整会議 ・広報啓発活動 ・研修、学習会 ・調査アンケート ・個別支援活動 ・家事援助活動	小地域ネットワーク活動の基盤体制を整備及びニーズの把握を行い、住民に対する理解を深めることを目的と運営を行う。 要援護者（独居高齢者・高齢世帯・昼間独居・障がい者・子育て中の親等）を対象とした、声かけ見守り援助活動及び家事援助活動。また通学時における児童見守り活動。 安否確認・対象者のニーズや身体状況の把握・福祉情報の提供などを目的に定期的に訪問活動を行う。	・各事業の運営を要する会議 ・福祉新聞やポスターの発行 ・人材育成に伴う勉強会 ・緊急連絡カードの発行 ・話相手、安否確認 ・交通安全見守り隊 ・ゴミ捨て、買い物同行 ・清掃活動(委員のみの活動) 等
サロン・地域リハビリ活動事業	地域のニーズに応じた、対象者（独居高齢者・高齢世帯・昼間独居・障がい者・子育て中の親等）を限定した、集団援助活動や閉じこもりの防止や参加者相互の仲間づくりを目的とするとともに趣味の場や、健康づくりの場を定期的に設ける。	・いきいきサロン ・子育てサロン ・ティーサロン ・転倒予防教室 ・グランドゴルフ 等 ※他団体の活動とならないように留意する
世代間交流事業	地域内の全住民または、地域内の世代間の交流、ふれあいや地域住民の結びつきの強化を目的として開催する。	・地域ふれあい福祉祭 ・子どもたちに伝える昔遊び教室 ・餅つき大会 ・ふれあい清掃活動 (全住民対象のもののみ)

別表 2

交 付 基 準

本会の予算の範囲内で交付するものとする。

種 類	校 区	地 区	内 容
基本的運営及び 個別支援活動費	180,000 円	30,000 円	連絡調整会議・・・地域福祉の基盤づくり 広報啓発活動・・・情報提供 研修・学習会・・・地域福祉を担う人材育成 調査アンケート・・・地域住民ニーズの把握 個別支援活動・・・見守り安否確認、家事援助等
地域人口加算	一人当たり・・・20 円		校区・地区の人口規模により加算
サロン地域リハビリ 活動加算	12,000 円／回 ※年 12 回を上 限とし加算する 上限 144,000 円	2,000 円／回 ※年 12 回を上 限とし加算する 上限 24,000 円	地域のニーズに応じた、対象者を限定とした集 団援助活動 例) いきいきサロン、子育てサロン ティーサロン、転倒予防教室 グランドゴルフなど ※他団体の活動とならないように留意する
世代間交流事業加算	100 人未満・・・20,000 円 100 人以上・・・40,000 円 ※年 1 回のみ加算する ※参加人数規模により加算する		地域内の全住民または地域内の世代間交流に より地域住民の結びつきの強化を行う 例) 地域ふれあい福祉祭り 子供たちに伝える昔遊び教室 餅つき大会 ふれあい清掃活動 等
物価高騰に対する加算	20,000	10,000	物価高騰に対しての臨時加算

## 対象経費の例示

## 収 入

項 目	説 明
繰越金	前年度の繰越金
事業補助金	福祉委員会事業補助金
社協会費還元金	
参加費収入	利用者の負担金（お弁当負担分・V保険収入等）
利息収入	
寄附金収入	
助成金収入	団体からの補助金・助成金等、歳末たすけあい配分金

## 支 出

項 目	説 明
諸謝金	報償費・講師料・お礼
旅費交通費	
消耗品費	文房具・友愛訪問等の粗品・ビデオテープ等
印刷製本費	印刷代・用紙代・写真現像料・フィルム代等
会議費	茶・茶菓子程度
通信運搬費	切手代・電話代等
賃借料	社協備品・器具・部屋代等
給食費	行事参加者における弁当代・茶代・食材費等(50%未満)
損害保険料	行事保険等
研修費	研修に必要な経費・書籍等
修繕費	備品等の破損・改修等
水道光熱費	電気・ガス・水道使用料
負担金	福祉委員会としての共催、交流事業、寄付等による支出
器具什器費	ラジカセ・テレビ・食器・座布団・腕章等

※上記に該当しないもの、項目が不明なものに関しては社協事務局にお問い合わせください。